

教 健 体 第 3 5 0 号
令和4年(2022年)6月20日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長
各道立青少年体験活動支援施設所長（指定管理者）
各道立美術館・博物館の長（指定管理者）
各市町村教育委員会教育長（札幌市を除く。） 様
（各市町村立学校長）
（各市町村立幼稚園長）
（各市町村立幼稚園型認定こども園長）

北海道教育庁生涯学習推進局長 山上 和 弘
北海道教育庁学校教育局指導担当局長
兼新型コロナウイルス感染症対策担当局長 中 澤 美 明

学校及び道立社会教育施設におけるマスクの着用について（通知）

このことについては、「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」（令和4年(2022年)5月26日付け教健体第242号通知）及び「夏季における児童生徒のマスクの着用について」（令和4年(2022年)6月10日付け教健体第314号通知）で通知しているところですが、本格的な夏を控え、熱中症の発生が懸念されることや、学校では学校祭等の行事が行われることを踏まえ、改めて次のとおり、学校及び道立社会教育施設におけるマスク着用の基本的な考え方や留意点をまとめましたので、道立学校を含む関係所管機関において適切に対応するとともに、別添リーフレットを児童生徒や保護者に配布したり、校舎や施設等に掲示したりするなど、積極的に活用願います。

また、各市町村教育委員会においては、貴所管の幼稚園や学校に周知願います。

記

- 1 学校におけるマスクの着用について 別紙1
- 2 道立社会教育施設（美術館、図書館、ネイパル）におけるマスクの着用について 別紙2

（生涯学習推進局社会教育課社会教育施設係）
（生涯学習推進局文化財・博物館課博物館係）
（生涯学習推進局文化財・博物館課文化財調査係）
（教育庁新型コロナウイルス感染症対策チーム）

学校におけるマスクの着用について

1. 屋外ではマスクの着用は必要ない。

ただし、人との距離（2 m以上を目安）がなく、かつ、会話をする場合には、マスクの着用を推奨する。

【マスクの着用を推奨する場面の例示】

- ・ 運動会において、競技前の整列や順番待ちなどの際に、身体的距離が取れず、会話をする場合には、マスクを着用する。
- ・ 体育祭において、クラスの応援の際に、身体的距離が取れない場合には、マスクを着用する。

2. 屋内では基本的にマスクの着用を推奨する。

ただし、人との距離（2 m以上を目安）があり、かつ、会話をほとんどしない場合は、着用の必要はない。

【マスクの着用を必要としない場面の例示】

- ・ 学校祭において、準備や後片付けの際に、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
- ・ 文化祭において、入場制限を行うなどして、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
- ・ ダンスなどのパフォーマンスの練習をする際には、マスクの着用は必要ない。ただし、話し合いや教え合う場面ではマスクの着用を推奨する。

3. 小学校就学前の幼児の取扱い

- (1) 2歳未満（乳幼児）は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- (2) 2歳以上児については、幼稚園等では、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合等において、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる。

4. 留意事項

- (1) 夏季において、マスクの着用が不要な場面とされている、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時においては、特に熱中症のリスクが高いことが想定されるため、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること。その際には、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるといった対応をとること。
- (2) お年寄りと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合には、マスクを着用すること。
- (3) マスク着脱の際には、手へのウイルス付着を避けるため、マスクの表面を触らないようにすること。

道立社会教育施設（美術館、図書館、ネイパル） におけるマスクの着用について

1. 道立美術館・博物館・埋蔵文化財センター

- (1) 屋内であるため、基本的にマスクの着用を推奨する。
- (2) 具体の場面においては、次に留意すること。
 - ア 作品の鑑賞中などに、他の観客との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。
 - イ 一緒に観覧に訪れた方などと会話を行う場合には、マスクの着用を推奨する。

2. 道立図書館

- (1) 屋内であるため、基本的にマスクの着用を推奨する。
- (2) 具体の場面においては、次に留意すること。
 - ア 読書の際に、他の人との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。
 - イ カウンターでの順番待ちなどの際に、他の人との身体的距離が確保できない場合には、マスクの着用を推奨する。
 - ウ 多目的室等での会話や、職員に本の問合せ等を行う場合には、マスクの着用を推奨する。
 - エ 飲食スペースでの飲食の際は、黙食を徹底する。（会話をする場合には、マスクを着用する。）

3. 道立青少年体験活動支援施設（ネイパル）

- (1) 基本的に、屋外ではマスクの着用は必要なく、屋内ではマスクの着用を推奨する。
- (2) 具体の場面においては、次に留意すること。
 - ア 屋外で、ウォークラリーや集団遊びなどを行う際に、他の人との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、集まって会話をする場合は、マスクの着用を推奨する。
 - イ 屋内で、他の利用者との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、他の利用者や団体と同じ場所で活動する場合は、マスクの着用を推奨する。
 - ウ 食事（野外炊飯を含む）の用意や、片付けをする場合、トイレや手洗い場などの共用スペースを使用する場合には、マスクの着用を推奨する。
 - エ 飲食の際は、黙食を徹底する。（会話をする場合には、マスクを着用する。）

4. 留意事項

マスクの着用を推奨する場合、職員は、必要に応じて利用者に声をかけること。

マスク着用の基本的な考え方

- ◎ 屋外ではマスクの着用は必要ない。ただし、人との距離がなく、かつ、会話をする場合には、マスクの着用を推奨する。
- ◎ 屋内ではマスクの着用を推奨する。ただし、人との距離があり、かつ、会話をほとんどしない場合は、着用の必要はない。

マスク着用の 基本的な考え方

会話を行う

会話をほとんど
行わない

屋外

身体的距離を確保できる
(2m以上を目安)



必要
ない

身体的距離を
確保できない



着用を
推奨



必要
ない



必要
ない

屋内

身体的距離を確保できる
(2m以上を目安)



着用を
推奨



着用を
推奨



必要
ない



着用を
推奨

- 【留意事項】◎ 夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。
また、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時は、熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導。
◎ お年寄りと会うときや病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

小学校就学前の 幼児の取扱い

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- 2歳以上児については、保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離に関わらず、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合等において、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる。

学校行事でのマスク着用の取扱いについて(例示)

屋外の活動

運動会、体育祭など

- 屋外ではマスクの着用は必要ない。ただし、次の場合においては、マスクを着用する。
 - ・ 競技前の整列や順番待ちなどの際に、身体的距離が取れず、かつ、会話をする場合にはマスクを着用する。
 - ・ クラスの応援の際に、身体的距離が取れず、かつ、声を出す場合にはマスクを着用する。
 - ・ チームで作戦や戦術等の話し合いの際に、身体的距離が取れない場合にはマスクを着用する。
- ※ 雨天などで屋内で実施する際は、運動の場面を除き、基本的にはマスクを着用する。
- ※ 身体的距離や会話の状況に応じて、児童生徒を指導する。

屋内の活動

学校祭、文化祭など

- 屋内ではマスクの着用を推奨する。ただし、次の場合においては、マスクの着用は必要ない。
 - ・ 準備や後片付けの際に、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
 - ・ クラス展示などでは、入場制限を行うなど、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
 - ・ ダンスなどのパフォーマンスの練習をする場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、話し合いの場面や教え合う場面ではマスクを着用する。
- 食事の際は、黙食を徹底する。(会話をする場合には、マスクを着用する。)



【注意】 夏季において、マスクの着用が不要な場面とされている、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時においては、特に熱中症のリスクが高いことが想定されるため、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること。その際には、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるといった対応をとること。

社会教育施設でのマスク着用の取扱いについて(例示)

美術館・博物館

屋内

- 作品の鑑賞中などに、他の観客との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。
- お連れの方などと会話を行う場合には、マスクの着用を推奨する。
- ※ このような場面では、職員が声をかけさせていただく場合があります。

図書館

屋内

- 読書の際に、他の人との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。
- カウンターでの順番待ちなどの際に、他の人との身体的距離が確保できない場合には、マスクの着用を推奨する。
- 多目的室等での会話や、職員に本の問合せ等を行う場合には、マスクの着用を推奨する。
- 飲食スペースでの飲食の際は、黙食を徹底する。(会話をする場合には、マスクを着用する。)
- ※ このような場面では、職員が声をかけさせていただく場合があります。

ネイパル

屋内 屋外

- 屋内で、他の利用者との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、他の利用者や団体と同じ場所で活動する場合は、マスクの着用を推奨する。
- 屋外で、ウォークラリーや集団遊びなどを行う際に、他の人との身体的距離を確保できる場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、集まって会話をする場合は、マスクの着用を推奨する。
- 食事(野外炊飯を含む)の用意や、片付けをする場合、トイレや手洗い場などの共用スペースを使用する場合には、マスクの着用を推奨する。
- 飲食の際は、黙食を徹底する。(会話をする場合には、マスクを着用する。)

※ このような場面では、職員が声をかけさせていただく場合があります。

